

## 子どもの防災ワークショップ

東日本大震災を契機に、防災・減災の意識が向上しています。阪神淡路大震災のときも今回の東日本大震災でも大人は子どもたちにずいぶん助けられたと言います。「子ども会議」で、子どもたちの「自主的な社会参加」を目的として、2日にわたって防災ワークショップをしました。参加者は、中学校2年生、高校2年生16名でした。

震災や避難所の様子を知るとともに、阪神淡路大震災の経験を伝えるゲームやワークショップを行いました。また、自分達の活動するまちの中の避難場所や避難所についても確認しました。

最後に、避難所で自分たちにできることを考えました。



### ☆参加した子どもの感想は

- ・自分たちにできることは意外にたくさんあった。
- ・他の人や他のチームの意見やアイデアを見たり聞いたりして、自分一人では思いつかないようなことがたくさんあることが分かった。

### ☆こんなアイデアも

- ・他の避難所の情報を足で取りに行く。
- ・困っている人声をかける、話し相手になる。

など大人の思いつかないようなアイデアがたくさん出ました。

### ☆こんな研修につかえます

- ・防災リーダー、避難所運営リーダーの研修、リーダー研修など